

左近山中だより

平成 29 年 6 月 26 日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 3

創り上げる心

学校長 福田 有志

学校では一年間の中で様々な行事があります。始業式、入学式から始まった今年度も、クラスや学年、委員会や部活動など様々な場面で一人ひとりの活躍が見られるようになりました。先月、1年生は、こども自然公園校外学習を、2年生は、鎌倉校外学習を、3年生は、関西方面修学旅行を行いました。この各学年の行事では、それぞれの目標を達成することができました。



また、今月は、6月10日(土)に体育祭を行いました。この日も天候に恵まれて、予定通り実施することができました。PTA役員、委員、保護者のみなさまにも御協力いただきました。本当にありがとうございました。御来賓として、たくさんの地域のみなさまにも応援をいただきました。改めて御礼を申し上げます。さて、今年

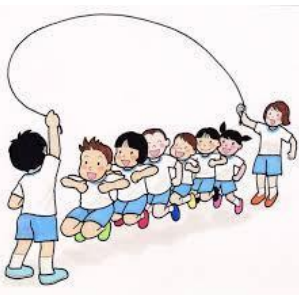
の体育祭も左近山中学校生徒全員のエネルギーを十分感じることができる素晴らしい一日となりました。全力で競技と応援に励んでいる姿には、感動しました。更に、様々な競技と場面で全校のみなさんが真剣に取り組んでいる姿を見ることができて、幸せを感じました。体育祭実行委員のみなさん、各係のみなさんの活躍がたいへん素晴らしかったことも本当に嬉しく感じました。競技者としての役割、各係としての役割を一人ひとりが自覚して取り組めたことが成功へつながったと言えます。



一つの行事を創り上げるには、しっかりとした計画と準備が必要になります。そして、準備してきたことをより良いものとして行うためには、その行事に携わる一人ひとりの取り組む姿勢が大切になってきます。毎年、在校生も職員も前年とは違ったメンバーとなり

ます。その中で一つ一つの行事を創り上げていくわけです。新たなメンバーで、新たな気持ちを込めて。担当の職員だけではなく、担当の生徒だけではなく、参加する一人ひとりの「心を込めた」取り組みとして。

体育祭を成功へ導いたのと同じように、これからも創り上げる心を大切にして、学習に行事に取り組んでいくことを期待しています。



こども自然公園に行ってきました



1学年は先日の5月30日、こども自然公園へ校外学習に行きました。風もなく快晴。日差しはあれども爽やかな、絶好の校外学習日和でした。日頃の生徒の良い行いが功を奏したのでしょうか。



中庭で朝の出欠確認の後の結団式が無事終わり、予定通り3組を先頭に中学校を出発です。

徒歩での移動の40分間、賑やかな会話が途切れることなく、班ごとにまとまって無事に入口広場に到着しました。

点呼も手順通りのスムーズな流れで、上々の滑り出しです。

桜山から眺めた富士山は生徒が暫し足を止めるほどの美しさでした。あまり見とれていると、「とりでの森」での遊び時間が少なくなるので、止む無く「とりでの森」に向かいます。



「とりでの森」では、はじめのうち遊具で遊ぶことに少し戸惑う様子も見られましたが、徐々に滑り台や鬼ごっこなどで、班の仲間とはしゃぎながら楽しく過ごすようになりました。

「まとまる」「そろえる」ことを活動の指針にしていたので、班の仲間とまとまって行動している姿は微笑ましいものでした。

次の「万騎が原ちびっこ動物園」では、ハツカネズミやモルモット、ニワトリと触れ合い、楽しいひとときを過ごしました。触れ合っている生徒の満面の笑顔がとても印象的でした。

蛍の生息地の脇を歩いていよいよ入村式です。代表委員の司会やしっかりした挨拶は



素晴らしものでした。

また野外活動センターの職員の方の薪割や火おこしの仕方の説明も、一言も聞き漏らさずに聞いていました。そのせいか、薪割の際の事故はなく、火も上手に起こしていました。いよいよカレー作り。各班員が事前に決めた役割(薪割、火おこし、調理)をしっかりと果たし、おいしいカレーが出来上がりました。



内藤先生の「ごはんの歌」の後、生徒全員で「いただきます」の挨拶をし、おいしくいただきました。片付けも班の仲間で手際よく協力し、短時間で終わりました。



そのあとのレクリエーションでも、班の皆で協力し合って、楽



しいひとときを過ごすことができました。

帰りは、大きな声で歌を歌いながら、班でまとまって元気に帰ってきました。解団式の後内藤先生先導で「大きな歌」を歌って、大池校外学習を締めくくりました。



翌日は、この校外学習の体験を体育祭に活かす方向で振り返りを行いました。この日から大縄跳びの回数が増えたり、生徒がバトンパスの練習に積極的に取り組んだり、行事から行事への良い流れができたことに素直に嬉しく思いました。

(1年 内藤 誠一)

鎌倉校外学習

鎌倉校外学習実行委員のみなさんは、校外学習の成功のために、多くの時間をかけて準備に当たってくれました。本当にありがとうございました。班長のみなさんは、道中、トラブルを防ぐために気を使い、大変疲れたことでしょう。お疲れ様でした。そのおかげで誰も怪我人を出すことなく無事に終わることが出来ました。長い距離



を歩いたので非常に疲れたと思います。全員が笑顔で帰着、とはいかなかったようですが、みんなで協力できた、楽しかったという満足感が、帰着連絡の電話越しからも伝わってきました。行事を通してまた成長できたと思います。次は3年生で行う修学旅行に向けて準備をしていきましょう。(2年 時本 俊)

「校外学習の様子」





晴天の都

5月28日から三日間、「作ろう！最高の思ひで～新しい歴史 知りたくない？～」のスローガンのもと、3年生は大阪・京都・奈良へ赴きました。三日間とも晴天に恵まれ、盆地ならではの気温を味わいながらの修学旅行となりました。生徒は短い時間の中で、多くの名所を回り、歴史を感じてきました。三日間のようすをお伝えしたいと思います。

1日目

三日間の中でも一番大変なスケジュールの一日でした。新幹線で新大阪駅に着いてすぐに、大阪城に向かいました。午後には、奈良に行き、法隆寺と東大寺の見学、奈良公園の散策をしました。どのクラスもバスガイドさんの話にしっかりと耳を傾け、成り立ちや特徴を学んでいました。この日の最後には、青蓮院で法話やお琴を聞き、「感謝」することの大切さや和楽器の音色の美しさを学ぶことができました。



2日目

二日目は班ごとに分かれて京都市内の班別研修を行いました。各班、事前に調べて考えたコースをナビ係が先導して回ることができました。中には、想像していた所要時間と違ったり、乗るバスを間違えてしまうこともありましたが、班員で協力して乗り切る力をつけることができました。班別研修を通して、事前に計画を立てることの大切さや不測の事態への対処の仕方を学べていたように感じます。



3日目

最終日は、各自の希望に沿ったコースごとの行動でした。湯呑づくりや組紐体験などの体験学習の後、嵐山散策や平等院の見学など、ゆっくりと名所を回ることでできた一日でした。帰りの新幹線内では、自分たちで撮影した写真を見返したり余韻を残して終わることのできた修学旅行でした。



3年生は、事前準備を含めた修学旅行の期間で、日本の歴史を肌で感じるとともに、仲間と協力して物事を進めることのできたことを学びました。今回学んだことを、残りの中学校生活だけでなく、卒業してからもぜひ忘れないでいてほしいと思います。
(3年 松本 大輝)

何の花が咲くのかな？

先月号でお知らせしましたが、技術員さんが学校の周りに種を蒔いていた植物が、ここまで大きくなりました。もうお分かりですか？夏の青空にぴったりの黄色い花が咲くそうです。

